

東京国際空港（羽田空港）の新しい滑走路（D滑走路） ～ 棧橋部 全198基のジャケット据付完了！ ～ 記者発表資料

国土交通省は、我が国空港ネットワークの拠点空港として極めて重要な位置を占める東京国際空港（羽田空港）において、新たに4本目の滑走路となる『D滑走路建設工事』について、平成22年10月末の滑走路の供用開始を目指し、24時間365日の昼夜連続施工により最速で工事を進めています。

平成22年1月26日（夜間）に、棧橋部の全198基の最終となるジャケットの据え付けが完了しました。

ジャケット据付作業は、平成20年1月9日に第1号基の据え付けから始まり、約2年間で、198基すべてのジャケットの据え付け作業が完了しました。棧橋部の総面積は、約52万m²となっており、東京ドーム約11個分に相当する広さです。

棧橋部ジャケットは、1基あたり6本の鋼管杭（最長：約91m）を海底下約70mの深さの堅固な地盤まで事前に打設後、新日鉄エンジニアリング富津工場及びJFEエンジニアリング千葉工場にて工場製作したジャケット^(※)を海上運搬により現地に搬入し、大型起重機船（最大3700t吊級）にて据付を行ってきました。

今後は、引き続き、ジャケット上部のプレキャストコンクリート床版の据付、舗装等の工事を進めていきます。

(※) 棧橋部ジャケットの構造は、滑走路面の土台となる鋼桁と脚部となる鋼管を組み合わせた長さ63m、幅45m、高さ32m（標準型）の鋼構造物です。また、長期耐久性を確保するため、ジャケットのレグ（脚）部はスーパーステンレス鋼でライニングし、上部の鋼桁下面にはチタン製カバープレートを配置し、内部空間を除湿する設計となっています。

平成22年1月28日（木）

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所

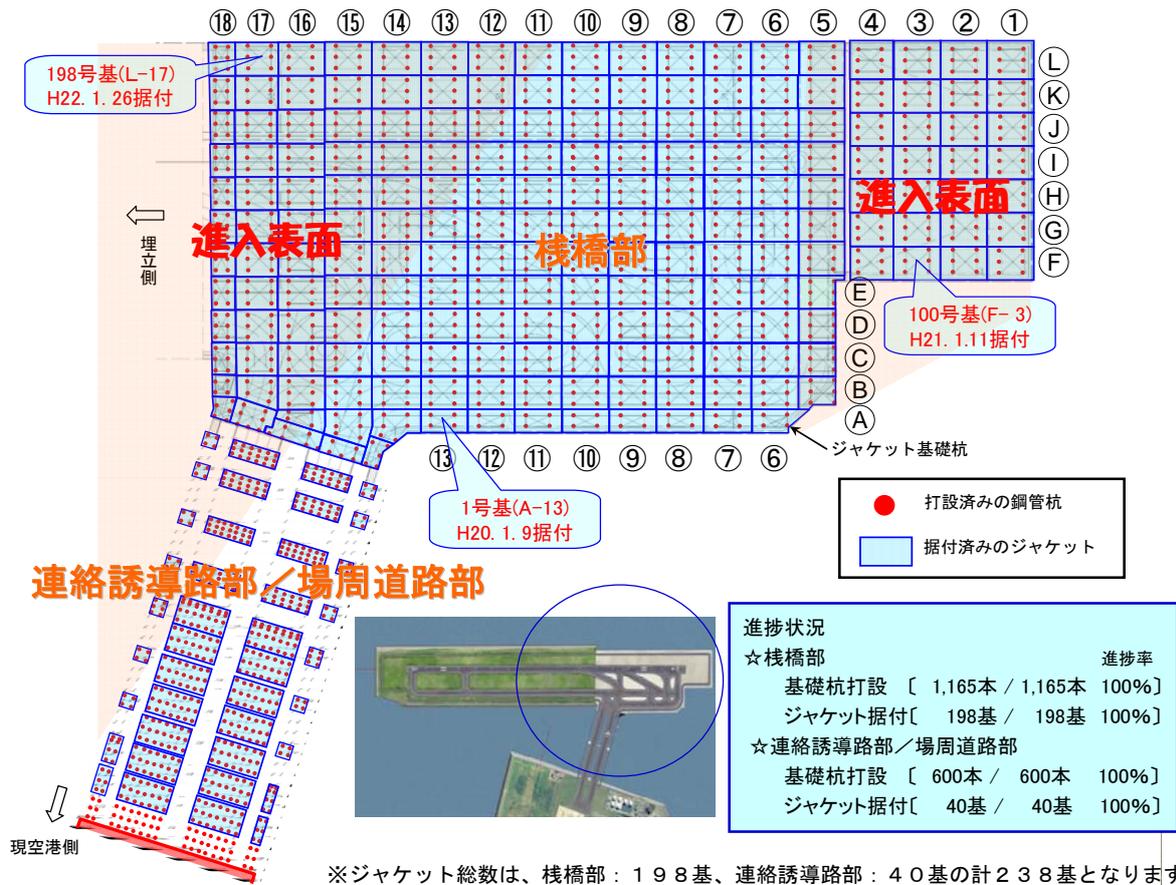
同時発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 横浜海事記者クラブ 神奈川建設記者会
都庁記者クラブ 千葉県政記者クラブ 東京航空記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所
前任建設管理官 押田和雄・係長 三浦一浩・村上栄基
住所 東京都大田区羽田空港3-5-7 メンテナンスセンターアネックス 5階
電話 03-5756-6580
HP <http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/>

◆D 滑走路ジャケット設置状況◆



写真；棧橋部の状況 (H21. 12. 18 撮影)



写真；棧橋部ジャケット198基目据付状況 (H22. 01. 26 撮影)